

**2018年9月期 第4四半期（通期） 決算説明会 質疑応答の要旨**

2018年10月30日に開催した第4四半期（通期）決算説明会（機関投資家・アナリスト・報道関係者向け）における主な質疑応答の要旨は下記の通りとなります。

Q 1. (株)電通との資本・業務提携について

A 1. 当社と(株)電通において互いの強みを活かした固有のパートナーシップを組むことができると考えている。市場環境として、大手広告主にとってデジタルシフトの重要性が従来よりも高まってきているという変化があり、その環境下、当社は成長ドライバーの一つであるブランド広告市場の開拓を推し進めてきた。これをさらにスケールさせていく上で(株)電通と綿密な議論を重ね、今回の合意に至った。詳細については同日公表の適時開示を参照いただきたい。

Q 2. 2019年9月期の通期業績予想が強気に見えるが、その背景や考え方（オーガニックな事業成長及び(株)電通との提携効果）について

A 2. (株)電通との業務提携の内容については双方で相応の期間と議論を経てきたことで、具体的な取り組み内容まで詰めることができていると、その効果を含んだ今期の業績成長について一定の確証を持っている。メディアコンテンツ事業の業績予想についても、GANMA!を中心とする各プロダクトの改善が進捗していることを背景としたオーガニックでの事業成長と(株)電通との業務提携における相乗効果を見込んだものとなっている。

Q 3. 販管費における人件費が減少したことについて（決算説明会資料 P14）

A 3. 新規採用の抑制によるものである。2018年9月期第3四半期の販管費をピークとして、トップラインの成長に繋がるまでは費用をコントロールするという方針を掲げていたため、今回の費用減はその成果が表れたものという認識である。第3四半期を底としてトップラインが反転していることもあり、組織のコンディションは量・質の両方において改善傾向が図れている。

Q 4. 次期の新経営体制（代表取締役を2名置くこと等）の背景について

A 4. 経営陣の各々の専門性を活かし、組織全体のパフォーマンスを上げることにより経営基盤を強化することが狙いである。

以 上